

令和 5 年度事業活動実績

I. 公益事業報告

1. パッケージデザインに関する調査・研究及び情報の収集・発信事業

(1) 調査・研究事業

前年に引き続き「SDGs とパッケージデザイン」を共通テーマに、ユニバーサルデザイン／ローカルパッケージ／若い世代の商品選択、それぞれの分科会で情報収集を進めた。これらの成果を順次、JPDA ライブラリーサイト「情報の森」に掲載し発信をおこなった。また、次年度活動の基礎情報とするために、アンケート調査、インタビュー調査を実施した。

(2) 広報事業

(a) 広報誌の制作、発行

各事業を企画運営する委員会の活動予定を伝える「事業カレンダー」を作成配布、適宜更新を図った。年度末には、「JPDA MAGAZINE Vol.10」を発刊、アニュアルマガジンとして 1 年間の JPDA 活動を伝える内容とした。

(b) アーカイブ活動

「日本パッケージデザイン大賞 2023」の大賞・金賞受賞作品を新たに収集保管。アーカイブ作品の貸し出しを促進するため、サイトから情報入手できるしくみを導入。情報発信の一環として、インタビュー録画「声のアーカイブ」を会員専用ページにて公開した。また、100 を超えるブランド「資生堂オイデルミン」のパッケージ変遷をたどるセミナーを実施した。

(3) インターネット事業

インターネットメディアを活用して JPDA 事業に関する広報活動、会員作品紹介ページ「マイワークス」の運営を進めつつ、SNS を活用した情報発信に注力した。また、新たにデジタルマガジン「ぱっけーじん」を 10 月にスタート、パッケージデザインに関わるさまざまな人物にフォーカスし、テーマごとに特集を組んで発信、幅広い層へのアプローチを試みている。

2. パッケージデザインに関する表彰についての公募、審査、受賞者の発表、贈賞に関わる事業及び、パッケージデザインに功績のあった人並びに団体の顕彰等

(1) 日本パッケージデザイン大賞

「日本パッケージデザイン大賞 2025」の準備を中心に活動、会員審査員投票、外部特別審査員の選任、応募要項の整備などを進め、3 月に特設サイトをオープン、作品募集を開始した。

(2) パッケージデザイン功績賞

次年度の贈賞式に向けて、パッケージデザイン功績賞の候補者選考を進めた。パッケージデザインの向上を目指す公益活動の一環として、パッケージデザイン功績賞の位置づけを再確認しつつ、外部有識者の意見も取り入れ、贈賞対象者を選定した。

(3) 日本パッケージデザイン学生賞

将来を担う学生にフォーカスした「第二回日本パッケージデザイン学生賞」を開催、周知を兼ねたワークショップも各地でおこない、応募総数 514 点にのぼった。一次二次の審査を経て、入選 137 点、入賞 29 点を選出、11 月には授賞式を開催、また企業研修も実施した。入賞作品は、2025 年 5 月刊行予定の「年鑑日本のパッケージデザイン 2025」に掲載される。

3. パッケージデザインに関する展覧会事業

(a) 創作パッケージデザイン展

日本人の暮らしや文化と密接に関わってきた「水 塩 米 酒」をテーマにした創作パッケージデザイン展の作品募集を開始、97 点の出品となり、12 月に京都会場、続けて東京会場で展示を行った。テーマにつながる深い、食に関するセミナーを、外部講師を招いて両会場で開催した。

(b) 中部パッケージデザイン展

中部地域の商品、パッケージを対象にした「中部パッケージデザイン展 2024」を 2024 年 3 月に名古屋市内で開催、デザインの力を伝える場とした。会期中にはトークショーも開催した。

(c) 日本パッケージデザイン大賞 巡回展

「日本パッケージデザイン大賞 2023」の上位入賞作品を中心に、パッケージデザインの現物の魅力に接する場として、大阪(7 月)、富山(9 月-10 月)、東京(10 月-12 月)で巡回展を開催した。東京展は、他の包装関連団体が主催するアワードとの共催でもあり、機能、表現などさまざまな視点でパッケージをとらえ直す機会となっている。

4. パッケージデザインに関する各種セミナー・育成事業

(1) セミナー事業

(a) 日本パッケージデザイン大賞 2023 記念セミナー

日本デザイン団体協議会(略称:D-8、現 DOO)と連携し、6 月開催の合同イベントにて各団体が主催するアワードの受賞作を紹介、日本のデザイン潮流を俯瞰する機会とした。また、DOO とは別にパッケージデザイン大賞 40 年の変遷を振り返るセミナーを開催した。

(b) グローバルイノベーションセミナー

世界的に活躍する講師を招き、グローバルな視点でのデザインのあり方、他分野とパッケージの関係を語っていただくセミナーとして企画。パリを拠点に活躍する建築家・田根剛氏を講師に迎え、パッケージとは異なるデザインへのアプローチや、「考古学的なリサーチ」から生まれるクリエイションから多くの示唆を得ることができた。

(c) 西日本 デザインセミナー

8 月に大阪にて外部講師によるデザインセミナーを開催。近年話題になっているジェネレイティブ AI(生成 AI)の最前線について、ツールとしての利用可能性、生成のプロセス、知的財産の問題など事例を見ながら理解を深める機会となった。

(d) 西日本 リアル見学会

大阪府茨木市にある資生堂の工場「資生堂ビューティーサイト」の見学会を開催した。ミュージアム、ラボ、マルシェといったさまざまなエリアを巡りながら、高品質で安心・安全なものづくりを楽しみながら学ぶことができた。

(e) 中日本(北陸) 富山デザインフェア 2023

富山市主催のデザイン振興イベント(9/29-10/1)にて、学生を対象とした「パッケージデザインコンペティション」入賞作品展示をおこなった。「富山の〇〇を包む」というテーマで県内外から 142 点を選出された。また、期間中に平野篤史氏を招き「裏デザイン」というテーマのデザインセミナーを開催した。

(f) 中日本(北陸) Talk cafe 2023

次世代を担う若手と学生を対象としたトークイベントを富山と金沢で隔年開催している。今年度は、信藤洋二氏を講師に「JPDA Talk cafe 2023 in TOYAMA」を開催、日本パッケージデザイン大賞 2023 大賞受賞作「BAUM」を題材に、サステナブルデザインのありかたを再考する機会とした。

(2) 権利保護事業

(a) サイトでの知財情報発信

JPDA ライブラリーサイト「デザインの権利と保護」コーナーにて、知財に関する専門家によるコラムを継続的に掲載、今年後は「デザイン保護ハンドブック」の解説記事や話題のメタバースとデザインについてなど、計4回情報発信を行った。

(b) デザイン保護ハンドブックセミナー

意匠法改正に伴い、前年度に完成した「デザイン保護ハンドブック改訂版」の解説セミナーを、専門家を招き、6月に都内で開催した。ハンドブックは企業内の知財教育にも活用されており、知的財産の基本的なポイントから理解できるセミナーとなった。

(3) 育成事業

「パッケージデザインの学校 2025」の準備の年とし、次年度開催する講座の企画、講師の選定、日程確認などを進めた。2024年秋から計10講座を開講する予定で、マーケティングに詳しい企業経営者、デザインの最前線で活躍するデザイナーなど概ね講師陣が固まった。

5. パッケージデザインに関する国内・国際交流事業

(1) 全国会議事業

(a) 東日本 オンライン交流会

オンライン交流会「みんなでつなごう！デザインの輪！」は、7月には、みずうみデザイン室（福岡）、2月は王子グループ（東京および富士）とオンラインでつなぎ、それぞれの地域特性や取り組みについて情報共有、交流を図った。

(b) 東日本 東京デザイン会議

デザインへの機運を盛り上げるべく、「世界デザイン会議」の開催、経産省のデザイン月間に合わせ、2023年10月に全国デザイン会議を東京にて開催した。コロナ禍を経ての4年ぶりのリアル開催であったが、山口周氏の基調講演につづき、気鋭のデザイナー3名によるトークショー、その後の交流会と、全国からの参加者と課題共有、情報交換ができた。

(2) 新年交流事業

(a) 東日本 新年デザイン交換会

コロナ禍ではオンライン開催を余儀なくされていた「新年デザイン交換会」は、4年ぶりに対面での開催となり、2024年1月、講演会と交流会の二部構成で開催した。講演会は『気鋭の狂言師 野村太一郎が語る「狂言の心」日本の伝統美』で、伝統文化を体感、交流会では対面開催を生かして、新たな出会い・交流の機会となった。

(b) 西日本交流 セミナー&デザイン交流会

2024年2月にセミナーおよび交流会を大阪にてリアル開催した。セミナーは、信藤洋二氏による講演「美をつなぐ 資生堂デザインの30年」。ここ30年のデザインに対する資生堂の取り組みが紹介された。交流会は、対面で開催、活発な情報交換、交流を図った。

(3) 国際交流事業

(a) 国際交流 オンラインセミナー

海外生中継オンラインセミナーを2024年2月に実施。南インド・ベンガルール在住のデザイナー夫妻、ディバック氏と榊田氏を講師に、急速に進化するインドの生活やデザインの今を知り、学びに活かすことができる内容となった。

(b) アジアパッケージデザイン会議 (APD)

2024年秋、韓国ソウルでの開催に向けて、APD参加各国・地域のパッケージデザイン団体の代表者による会議を2023年11月、現地にて開催した。代表者・担当役員の交流と開催に関する協議を行った。

(c) 東日本大震災復興支援事業

前年まで実施されていた経済産業省東北産業局主催のパッケージデザイン支援事業は、当年は実施がなかった。他事業を運営する委員会と連携し、学生向けワークショップを岩手県内にて実施した。今後、さらに復興支援事業の新たなありかた、他事業との連携などを模索・検討していく。

6. パッケージデザインに関する出版事業

(a) 年鑑日本のパッケージデザイン 2023

「日本パッケージデザイン大賞 2023」の入賞・入選作品を掲載した「年鑑日本のパッケージデザイン 2023」を 2023 年 5 月に発刊した。展覧会事業と連携し、東京巡回展の期間中には、日本パッケージデザイン大賞 2023 受賞作から見えてくる「環境とデザインの新しいあり方」をテーマにしたトークショーを企画した。

(b) PACKAGE DESIGN INDEX 2024

2024 年 5 月発刊を目指して「PACKAGE DESIGN INDEX 2024」の企画、募集、編集、制作を進めた。マーケティング及びブランディング戦略の資料に活用されるパッケージデザイン作品集として、最終的に掲載社数 112 社、掲載頁数 284 頁の構成となった。

(c) 新企画本

前年度に続き「ステキなパッケージ」の編集デザイン作業を継続、2025 年 3 月発刊を目指す。別企画として「パッケージデザインのひみつ」を 2023 年 5 月発刊、一般向けにわかりやすくパッケージデザインを解説する書籍となり、メディアにも多く取り上げられている。

II. 収益事業報告

収益事業

アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトの受託事業

平成 27 年 6 月、(独)国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトを受託することで変更認定を受けたが、令和 2 年度になり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、アスパックの全ての事業が中止となり、令和 3 年 3 月をもって主催者であり事業の受託元であるアスパック協会も解散となったことから、当協会の収益事業も休止している。新たな収益事業の探索は具体化に至らず、再検討を図っていく。

III. 官庁主催会議及び外部団体との会議並びに事業協力

1. 経済産業省・厚生労働省

令和 5 年 4 月 「デザイン業界の新型コロナウイルス感染拡大による直近3か月の概況調査」

(1 月～3 月)に関するアンケート協力

令和 5 年 7 月 「デザイン業界の新型コロナウイルス感染拡大による直近3か月の概況調査」

(4 月～6 月)に関するアンケート協力

令和 5 年 10 月 「デザイン業界の新型コロナウイルス感染拡大による直近3か月の概況調査」

(7 月～9 月)に関するアンケート協力

令和 6 年 1 月 「デザイン業界の新型コロナウイルス感染拡大による直近3か月の概況調査」

(10 月～12 月)に関するアンケート協力

令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月 消費税インボイス制度に関する情報をはじめ、会員への周知依頼に対応、協会ウェブサイトに掲載するとともに会員メールにて情報配信を行なった。

2. 日本デザイン団体協議会(略称 D-8、令和 6 年 10 月 DOO に改称)

(1) DOO(旧 D-8)運営会議

- 令和 5 年 5 月 23 日 (ハイブリッド 小川理事長、信藤副理事長、中越事務局長)
- 令和 5 年 7 月 18 日 (ハイブリッド 小川理事長、信藤副理事長、中越事務局長)
- 令和 5 年 9 月 26 日 (ハイブリッド 小川理事長、信藤副理事長、高麗理事、中越事務局長)
- 令和 5 年 11 月 21 日 (ハイブリッド 小川理事長、信藤副理事長、高麗理事、中越事務局長)
- 令和 6 年 1 月 17 日 (オンライン 小川理事長、信藤副理事長、高麗理事、中越事務局長)
- 令和 6 年 3 月 27 日 (ハイブリッド 小川理事長、信藤副理事長、中越事務局長)

(2) 合同イベント「JAPAN DESIGN SUMMIT」

- 令和 5 年 6 月 16 日 (信藤副理事長がシンポジウムに登壇)

(3) 豊島区国際アート・カルチャー特命大使／SDGs 特命大使自主企画事業イベント

ジャパンデザインミュージアム構想 研究発表会 in 豊島区 シンポジウム 2023 に協力

- 令和 6 年 2 月 17 日 シンポジウム(創形美術学校、信藤副理事長がシンポジウムに登壇)
- 令和 6 年 2 月 16 日-24 日 デザインクロニクル展示(創形美術学校 ギャラリー・プリント)

(4) ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会(JDM 委員会)

- 令和 5 年 5 月 17 日 (オンライン 入江理事)
- 令和 5 年 6 月 14 日 (オンライン 入江理事、中越事務局長)
- 令和 5 年 7 月 19 日 (ハイブリッド 柴野委員、中越事務局長)
- 令和 5 年 8 月 22 日 (ハイブリッド 信藤副理事長、入江理事、柴野委員、中越事務局長)
- 令和 5 年 9 月 20 日 (ハイブリッド 信藤副理事長、入江理事、柴野委員、永沼委員)
- 令和 5 年 10 月 18 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員、永沼委員)
- 令和 5 年 11 月 15 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員、永沼委員)
- 令和 5 年 12 月 1 日 (S/park 見学会 信藤副理事長、柴野委員、永沼委員)
- 令和 5 年 12 月 21 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員、永沼委員)
- 令和 6 年 1 月 19 日 (ハイブリッド 信藤副理事長、入江理事、柴野委員、永沼委員)
- 令和 6 年 2 月 21 日 (ハイブリッド 信藤副理事長、入江理事、柴野委員)
- 令和 6 年 3 月 21 日 (ハイブリッド 入江理事、柴野委員、永沼委員)

(5) ジャパンデザイナーズ広報特別委員会

- 令和 5 年 8 月 10 日 (オンライン 高麗理事、佐野委員、中越事務局長)
- 令和 5 年 8 月 28 日 (オンライン 高麗理事、佐野委員、中越事務局長)

(6) デザイン保護研究会

- 令和 5 年 5 月 18 日 (オンライン 竹内理事)
- 令和 5 年 6 月 15 日 (オンライン 竹内理事)
- 令和 5 年 8 月 23 日 (オンライン 竹内理事、徳岡委員)
- 令和 5 年 10 月 18 日 (オンライン 竹内理事、徳岡委員)
- 令和 5 年 12 月 20 日 (竹内理事、徳岡委員)
- 令和 6 年 2 月 21 日 (オンライン 竹内理事、徳岡委員)

3. 外部団体への事業協力

(1) (公社)日本包装技術協会

- 令和 5 年 5 月 26 日 「パッケージングデザイン懇話会」 小川理事長が講演
- 令和 5 年 6 月 15 日 「2023 日本パッケージングコンテスト」審査会 信藤副理事長(代理出席)

令和5年8月30日「2023日本パッケージングコンテスト」表彰式 小川理事長

(2) 凸版印刷(株) 印刷博物館

令和5年10月9日 P&P ギャラリーで開催の「現代日本のパッケージ 2023」展でのトークショー【JPDA 日本パッケージデザイン大賞 2023 受賞作から見えてくる「環境とデザインの新しいあり方」】に信藤副理事長、山崎理事、および受賞者2名が登壇

(3) (一社)日本印刷産業連合会

令和6年2月16日「第63回2024年ジャパンパッケージングコンペティション」審査会 小原業務執行理事

IV. 名義関連

(1) 後援名義

- ・「2023 日本パッケージングコンテスト(第45回)」(主催:(公社)日本包装技術協会)
- ・「第25回福岡デザインアワード」(主催:福岡県産業デザイン協議会)
- ・「World Interiors Week 2023 in Japan」(主催:(公社)日本インテリアデザイナー協会、(公財)日本デザイン振興会)
- ・「パッケージ展 2023(第7回)」(主催:(公社)大阪産業局)
- ・「コンテンツ東京(第14回/第15回)」(主催:RX Japan(株))
- ・「第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」(主催:全日本印刷工業組合連合会)
- ・「WDO 世界デザイン会議東京 2023」(主催:(公財)日本デザイン振興会、WDO 世界デザイン会議東京 2023 実行委員会)
- ・「次世代を担うデザイン展 2023」(主催:(公社)日本インテリアデザイナー協会)
- ・「第63回2024年ジャパンパッケージングコンペティション」(主催:(一社)日本印刷産業連合会)
- ・「2024 日本パッケージングコンテスト(第46回)」(主催:(公社)日本包装技術協会)

(2) 共催名義

- ・「富山デザインフェア 2023」(主催:富山市、運営:富山デザインフェア実行委員会)
- ・「現代日本のパッケージ 2023」(主催:凸版印刷(株) 印刷博物館)

(3) 協賛名義

- ・「第96回東京インターナショナル・ギフトショー秋 2023」(主催:(株)ビジネスガイド社)
- ・「第52回日本プロモーション・マーケティング協会展 2023」(主催:(一社)日本プロモーション・マーケティング協会)
- ・「JAPAN PACK 2023(日本包装産業展)」(主催:(一社)日本包装機械工業会)
- ・「第34回 西日本食品産業創造展'24」(主催:日刊工業新聞社)
- ・「第33回公募 2024日本ジュエリー展」(主催:(公社)日本ジュエリーデザイナー協会)
- ・「第97回東京インターナショナル・ギフトショー春 2024」(主催:(株)ビジネスガイド社)
- ・「page2024」(主催:(公社)日本印刷技術協会)
- ・「第98回東京インターナショナル・ギフトショー秋 2024」(主催:(株)ビジネスガイド社)

(4) 協力名義

- ・「ライティング・オブジェ 2023」(主催:ライティング・オブジェ制作委員会)
- ・「ビジネスデザイン EXPO2024 Vol.3」(主催:(一社)中部広告制作協会)

V. 会議開催状況

- (1) 総会(第42回) 令和5年6月 東京都文京区 東京ガーデンパレス 会議室
- (2) 臨時総会 なし

- (3) 定例理事会
 令和5年5月 文京区民センター 会議室
 令和5年7月 文京区民センター 会議室
 令和5年9月 文京シビックセンター 会議室
 令和5年11月 ふれあい貸し会議室 品川(シャトー高輪 205号) No87
 令和6年1月 オンライン
 令和6年3月 文京シビックセンター 会議室
- (4) 臨時理事会
 令和5年6月 東京都文京区 東京ガーデンパレス 会議室
- (5) 会員入会審査
 令和5年5月 文京区民センター 会議室
 令和5年7月 文京区民センター 会議室
 令和5年9月 文京シビックセンター 会議室
 令和5年11月 ふれあい貸し会議室 品川(シャトー高輪 205号) No87
 令和6年1月 文京シビックセンター 会議室
 令和6年3月 文京シビックセンター 会議室
- (6) 各委員会
 令和5年度中 調査研究、広報、インターネット、コンペティション、
 アーカイブ、学生コンペ、展覧会、デザイン保護、育成、出版、総務、及び
 地域の各事業でオンラインも活用し委員会を開催した

VI. 令和5年度会員異動状況

会員別	令和5年3月31日	令和5年4月1日～令和6年3月31日		令和6年3月31日
		入会	退会	
法人会員	230	11	10	231
個人会員	481	11	36	456
賛助会員	3	0	1	2
合計	714	22	47	689

VII. 報告事項

- (1) 令和5年6月29日 内閣総理大臣あて、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第129条第1項に規定する計算書類等、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第28条第1項第2号、及び法律第38条第1項第2号及び第3号の規定による令和4年度事業報告及び収支決算書に係わる書類の提出。(電子報告)
- (2) 令和5年7月10日 内閣総理大臣あて、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定による定款の変更、理事、監事、評議員又は会計監査人の氏名若しくは名称の変更。(電子報告)
- (3) 令和6年3月28日 内閣総理大臣あて、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定による令和6年度事業計画書及び収支予算書の提出。(電子報告)

以上